



行こう。それぞれの頂へ。



信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

しあわせ信州

長野県(教育委員会) プレスリリース 令和5年(2023年)6月23日

軽井沢町に所在する1件の建造物が 国の重要文化財に指定されます

本日、令和5年6月23日(金)に開催された文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記建造物について、文化審議会から文部科学大臣へ重要文化財に指定するよう答申されました。今後、官報告示を経て指定されます。

■ 文化財の概要 詳細及び問合せ先は別添資料参照

木造モダニズム建築の先駆けとなった建築家アントニン・レーモンドの別荘兼事務所
軽井沢夏の家(旧アントニン・レーモンド軽井沢別邸)



個人と社会の ウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」と
とことん追求できる「探究県」長野の学び～

第4次長野県教育振興基本計画 推進中!

— 長野県教育委員会 —



デザイン制作=高校生×民間企業-協賛/アガミ
学び応援キャラクター「信州なび助」©長野県教育委員会信州なび助

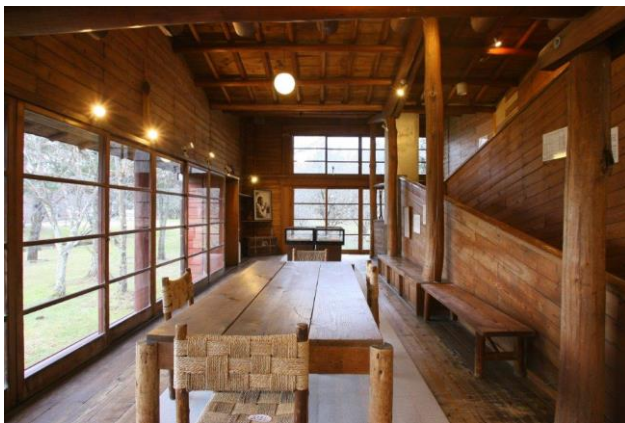


(問合せ先)

担 当 長野県教育委員会事務局
文化財・生涯学習課文化財係 三木、市川
電 話 026-235-7441 (直通) 内線 4427
F A X 026-235-7493
E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

木造モダニズム建築の先駆けとなった建築家レーモンドの別荘兼事務所

- 〔文化財種別〕 建造物
〔名称〕 軽井沢夏の家
 かるいざわなつ いえ
 (旧アントニン・レーモンド軽井沢別邸)
〔員数〕 1棟
〔構造及び形式〕 木造、建築面積 162,98㎡、
 一部2階建、鉄板葺
〔年代〕 昭和8（1933）年建築
〔所有者〕 有限会社塩沢遊園
〔所在地〕 北佐久郡軽井沢町
 大字長倉字古川 228 番地 1 他
〔指定基準〕 重要文化財指定基準
 「歴史的価値の高いもの」による



1階居間



2階アトリエへのスロープ

〔概要・特徴等〕

- 建築家アントニン・レーモンドが昭和8（1933）年に町内に建築した別荘兼事務所で、昭和61（1986）年に現地へ移築されました。移築先の塩沢湖畔で「ペイネ美術館」として公開されています。
- バタフライ屋根とスロープ、吹抜を用いて、立体的で動きのある空間を創出し、丸太による木造軸組構造、芯外しの引戸などを駆使して軽快さと開放性を実現しました。
- モダニズム建築を日本の伝統技法を用いて実現した先駆的な事例で、後の我が国の木造のモダニズム建築に大きく影響を与えています。

■ 軽井沢夏の家（旧アントニン・レーモンド軽井沢別邸）に関する問合せ先

軽井沢町教育委員会 生涯学習課文化振興係 電話 0267-45-8695